

自律思考で、 共に未来を切り拓こう

regenesiis



第7回年次大会議案書

2022年8月5日(金) 長岡京地区 組合講堂



ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合

多様性における自律と 支え合いのリバランス

この2年、私達は国際社会全体でコロナパンデミックという未曾有の経験をしました。

コロナ禍により現代社会が抱える光と闇が浮彫りにされたと思います。

例えばSociety5.0に向けたデジタル技術の実装加速やグリーン化への意識高揚など、明るい光がみえた一方で、社会インフラやサプライチェーンの脆弱性など、暗い闇もみえました。

さらに、人類共通の敵としてウイルスと闘っているそのさなか、人間同士の戦争も勃発してしまい、国際秩序と生命に関わる危機が増幅しています。

あらためて、生命、平和、安全について問いなおすべき現実が目の前にあります。

低成長時代の日本社会も経済産業の新機軸を求めるなかにあり、私達会社もグローバル半導体専業メーカーへと大きく舵を切り、再び成長を目指しています。

私達は事業や仕事を通じて社会や暮らしにおける様々な課題の解決に貢献し、持続可能な雇用を守るためにも、半導体事業を真に復活させねばなりません。

また、日常の生活や働き方も大きく変わりました。

リアル対面活動とリモートワーク勤務の組み合わせも、その特性や用途に応じた使い分けが進み、ニューノーマル時代はオンラインとオフラインの融合OMO運営(Online Merges with Offline)が主流になると考えられます。新たな世界での「生き方」を私達は探究し続ける必要があります。

私達労働組合は運動理念として「豊かに生きる」を目指しており、混迷を深める社会情勢を乗り越えていくためには、多様な考え方を持つ個々人が人生のオーナーとして、自ら生きる、自ら考え動く、自ら律する、ということがさらに大切になると考えます。

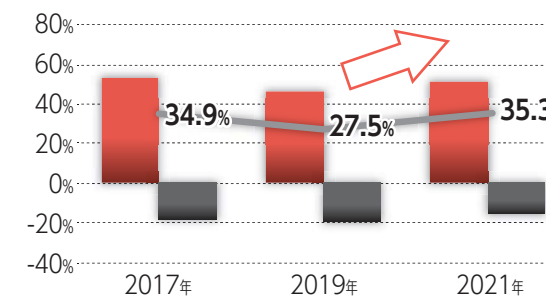
同時に、行き過ぎた個人主義や新自由主義にバランスをもたらす社会的包摂や支え合い、家族や社会の絆、連帯、利他の精神など、労働組合本来の行動規範を再認識し、社会課題の解決に活かしていくことも大切になると考えます。

二律背反や二項対立ではなく、コミュニケーションのなかでの**自律と支え合いのリバランス**運営をこの先2年の運動方針に定めたいと考えます。



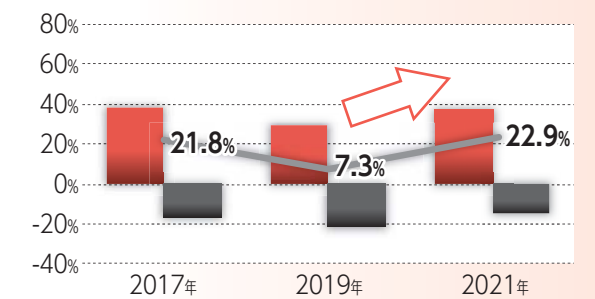
前期に実施した組合員の意識実態アンケートにおいて、業績が黒字化し、成長投資も実感できることもあり、自らの内から沸き起こる働きがいV字回復していることがわかりました。

Q 今の仕事に働きがいを感じる



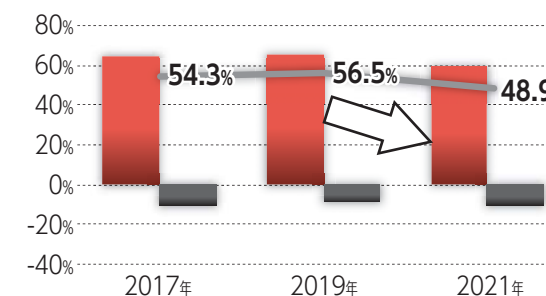
■ そう思う ■ そう思わない — Posi-Nega

Q 会社や、その事業の将来に夢を持っている



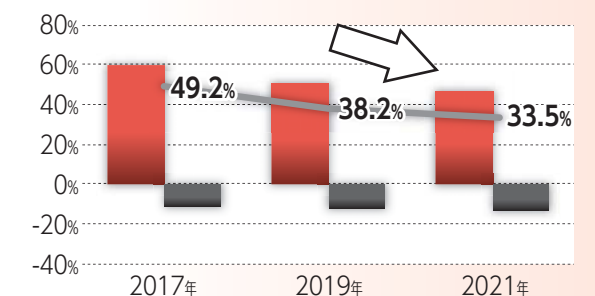
一方、組合活動への参加関与は低下傾向にあり、会社に対する帰属意識も低下がみられ、他部署や他人に対する関心やコミュニケーションは薄れてしまっていると分析しています。

Q 組合の集会(職場会など)にはいつも参加するようにしている



■ そう思う ■ そう思わない — Posi-Nega

Q 今の会社にずっと勤めたい



正しい答えを見出しにくい時代です。

上記課題認識も踏まえたうえで、多様な価値観を共に学び合いながら、様々な困難を突破していく力を養い、「豊かに生きる」を実践行動していきたいと思ひます。

組合員の皆さん一人ひとりが輝きながら、主体的、積極的に共に活動へ参加して頂くことをお願いします。

Mission (使命)	Vision (ありたい姿)	Values (行動規範)
組織が存在する意義、組織が究極的にやらねばならない使命	なりたい姿、目標のイメージを具体的に表現したもの	組織行動の優先順位を決めるための行動指針
豊かに生きる	笑顔にあふれた未来を自ら創造する@2030	・ 職場の自治会機能 ・ 利他共助共済 ・ コミュニケーションツール

regenesi

自律思考で、共に未来を切り拓こう



経営政策部

職場課題解決に向けた職場密着活動の推進

職場意見の吸い上げで、 コミュニケーション力をエンハンス

2020年12月のBG制導入などの組織諮問に対し、申し入れに応じた対応をしました。また、職場担当執行委員との連携のもと、組合員の思いを会社への意見書提起に反映しました。

会社運営方針に対して組合役員・委員アンケートを通じて、受け止めを定量化し、労使協議会の質疑に活用しました。

外資系企業として新たな労使関係を定着化

経営層の思いを職場へブレイクダウン

経営委員会における経営幹部との論議、労使協議会におけるBGToppとの論議を通じて、会社経営および事業運営への思いを深掘りすることで新しい労使の枠組みでの関係構築を進めました。また、その内容はAzalea号外で全従業員に共有しました。

職場コミュニケーション活性化のきっかけとしてBG長、センター長、総括部長対談を通じて経営幹部を知ってもらうとともに組織運営における『組合員へのメッセージ』をお聞きし、Azalea号外で全従業員と共有しました。

また、月2回、定例で人事と労使ミーティングを行い、都度、会社情報を事前に把握し、組合からも意見提起や要望をしました。

人材育成を通して経営課題への対応力強化

上部団体活動への参加と

外部労組の交わりでスキルアップ

経営幹部との対話で経営情報を適宜把握し、組合役員と共有することでナレッジボトムアップに努めました。また、Azalea定刊号を通じてタイムリーに情報を発信し、経営状況を組合員と共有しました。

外資系労組懇談会で情報を収集し、経営政策部の活動へ反映しました。各種研修・セミナーへ参加を通じて、今後の半導体産業の市場動向を学び、経営政策活動に資するナレッジを増やしました。



組織政策部

組織力強化に向けた新たなインフラの構築

在宅勤務にも対応した決議機関の運営手法確立

組合規約に電磁的手法条項を整備、職場統括委員会のオンライン対応、春闘スト権の電子投票など、新たな働き方に追随した組織運営を確立しました。

プロジェクトによる組合員アンケートの推進

経営政策部・労働政策部・組織政策部からなるプロジェクトチームのもと、組合員アンケートを実施し、労働環境変化に対する意識実態を調査しました。

人への投資・学びの場の創出

各種研修・セミナーへの執行委員の参画

電機連合、PGUなどの組合組織主催のオンライン研修を中心に、執行委員を派遣し、視野識見の拡大に努めました。

職場原点活動・世話役活動の強化

既存組合員との接点希薄化に課題、

新入組合員との接点機会を提供

COVID-19影響を受け、対面での職場会や対話会が実施できず、職場原点の活動が希薄化していることが浮き彫りになりました。

一方、直近1年の新入組合員に対しては、68名全員に説明会（ウェルカムフォーラム）を開催し、組合との「最初の接点機会」を提供しました。

リアルイベントの再開

PGU京都・滋賀地区懇との連携による

家族交流イベントを実施

単組単独のイベント開催が不透明な中で、PGU京都・滋賀地区懇主催のファミリーイベント『ユニバーサル・パーティ』に共催、リアルイベント再開の先鞭をつけました。NTJ労組から84名（家族含む）の参加となり、盛況でした。



労働政策部

多様な人材が活躍し続けられ、
やりがい働きがいが高まる労働環境の整備

労働対策委員会にて
新たな人事制度・労働条件・福祉について論議実施

新たな人事制度の構築とTSA期間終了に伴う福祉制度変更について労働対策委員会を立ち上げて会社と論議を行いました。その内容について、職場との往復論議により理解を深め、職場統括委員会にて答申批准を行いました。

2022年 総合労働条件改善闘争

組合員の不安払しょくにつながる会社回答の引き出し

労働条件、特に賃金・一時金について、社会情勢、グローバル賃金水準、電機連合の統一闘争方針を踏まえ、組合員の挑戦意欲の喚起とモチベーションの維持・向上につながる要求内容を策定し、組合員の不安払しょくにつながる会社回答を引き出すことができました。

ワークライフバランスの実現に向けた働き方改革

長時間労働と年休取得率の実績把握

超勤時間、入退門時間差異の実態を確認し、超勤の多い部署には負担軽減策のヒアリングを実施しました。また全員5日以上以上の年休を取得していることを確認し、生産性向上と長時間労働削減に向け取り組みを推進しました。

各種調査による実態確認

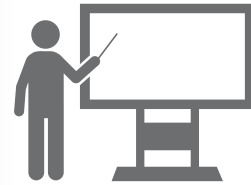
各種調査による職場労働環境の把握

賃金・一時金実態調査を実施し、適正な運用がされているか実態確認を行うとともに、組合員に調査結果とその分析結果を共有し、制度の理解向上に努めました。また、組合員アンケートでは社会環境変化に伴う意識調査を追加し、職場労働環境把握に努めました。

安心・安全で快適に働ける職場環境づくり

安全衛生委員会へ参画し、職場環境の是正を実施

各拠点の安全衛生委員会に参画し、災害情報や対策内容の情報共有を行うとともに、定期的な職場巡視で改善点の指摘や是正を行い、労働災害撲滅に向け取り組みを推進しました。



ライフデザイン部

生涯設計支援を目的とした
福祉・共済制度の利用促進

ライフデザインセミナーのオンライン化と、
ライフプラン相談会の開催

可処分所得の最大化の実践を支援するため、オンラインでライフデザインセミナーを受講できる仕組みを取り入れました。

(テーマ数：60タイトル／視聴期間：1年間)

また、内部講師によるセミナーの録画配信と、外部団体との共催によるライフプランの相談会を開催したことで、約1000名の従業員が共済制度をスムーズに移行できました。さらには、共済加入者全員に移行手続きを丁寧に案内することで、意図しない無保障者の発生を未然防止できました。

心身の健康を支援するライフデザイン講演会

室内での集合型イベントの制約があったため、開催を見送りました。

推進リーダーの養成

内部講師による共済制度の勉強会を実施し、組合員の相談を受けられる相談員の養成に取り組みました。



暮らし改革部

社会改革情宣と接点拡大

Azaleaを通じた「暮らし改革活動」の継続的な情報発信

Azaleaの定刊号において、毎回、組織内参議院議員の直近の活動を紹介し、産業政策について幅広く情報共有しました。

「ウェルカムフォーラム」を通じた、暮らし改革活動への理解促進

新入組合員を対象にウェルカムフォーラムで暮らし改革活動を紹介し、理解の醸成と、「暮らし改革研究会」の加入につなげました。

各級選挙への支援

NTJ労組組織内議員の長岡京市議6選

2021年10月の長岡京市議会議員選挙において、進藤裕之議員が6期目の当選を果たしました。その他の各級選挙では、衆議院選、市町議選、首長選での連合・電機連合の推薦・支援候補の支持拡大に取り組みました。

各種地域交流活動(長岡京市民懇話会)

新体制に伴う活動見直しと地域住民との交流イベント再開

労使の体制変更に伴い、関係者との協議のもと竹林保全活動を円満に終息しました。長岡京ガラシャ祭り、少年サッカー大会はCOVID-19影響で中止となりましたが、地域住民との交流イベントとして定着しているバスツアー(潮干狩り)は無事、開催できました。

連合・電機連合・PGU等と連携した活動

地域での活動を通じた労組のプレゼンス向上

地域環境の保全活動として「連合乙訓クリーンキャンペーン」に取り組みました。22年の連合メーデーには多くの組合員に参画いただきました。災害被災地支援は対面カンパが大幅に制約される中、初めてオンラインでのカンパ活動(PGUウクライナ緊急人道支援)に取り組みました。



広報部

NTJ労組ホームページの有効活用

各種情報を紙ベースからWebベースへ完全シフト

新労組結成に伴い刷新したホームページを活用し、時間や場所に依存しない情宣方法へ完全シフトしました。高頻度で更新し、常に最新の状態で各種機関紙・情報を提供しました。さらに、アンケートフォームを活用した機関紙の感想・意見の収集、セミナーの参加者アンケートを行い、分析結果を広報活動へ反映しました。

機関紙による情宣

Azalea定刊号は毎月、NTJU News及びAzalea号外は適時Webベースで発行

在宅勤務の拡大に伴い、全面的にホームページ掲載のWeb版として発行しました。Azalea定刊号は、組合活動や議員活動報告、新入組合員紹介を掲載し毎月発行しました。NTJU NewsやAzalea号外では、各専門部の活動内容やセンター長・総括部長対談、労使協議会の内容について随時発行しました。

デジタルサイネージによる情宣

視覚的でタイムリーな情報を提供

長岡京地区の食堂前とB棟入口に設置したデジタルサイネージを最大限活用し、機関紙やポスターではできない動画を用いてフレッシュな情報を提供しました。



経営政策部

全員経営参画で、ともに成長！

職場課題を吸い上げ、
労使間で“Win-Win”な関係構築

自立運営に向けた職場意見の吸い上げを継続

会社申し入れに応じた対応を継続的に実施し、職場統括委員・職場委員連携のもと、職場の意見・要望を抽出し労使協議の場で論議します。また、職場毎の課題を吸い上げ、職場自治活動を自立して運営できるよう、仕組み作りに取り組みます。

会社運営方針発表のタイミングで組合役員アンケートを実施し、会社方針に対する受け止めを整理し、経営政策活動へ活用します。

労使間でフレキシブルな会話を都度実施
“いきいき”した職場作りへ

タイムリーな意見交換で労使間コミュニケーションを活性化
フレキシブルに経営委員会、労使協議会を開催しタイムリーな意見交換を行い、環境変化に対応した経営対峙力を強化していきます。労使協議活動を組合員に身近に感じ、関心を高めてもらう広報発信をしていきます。

職場の運営課題を討議する場として、BG長、センター長との労使間コミュニケーションを継続的に実施し、経営政策活動につなげていきます。また、人事との定期的な労使ミーティングを通じて得られた情報を職場担当執行委員とも共有し、職場自治活動につなげていきます。

組織内外の交流を通じた人材育成で
“ワクワク”した経営政策活動

組織内外との積極的な交わりで継続した人材育成

経営政策活動で得た職場内の情報や外部の公知情報を執行部と共有し経営状況の見届けを行います。また、Azalea定刊号で組合員にシェアすることで組合員一人ひとりの経営に対する意識を高める取り組みを継続します。

各種セミナー、上部団体主催の労組懇談会に継続的に参加し、他労組と情報交換することで経営政策活動に役立たせます。また、外資系労組との単組間交流で視野・知見を広めることで継続してスキルアップを図ります。



組織政策部

みんなで意識改革、組合関心度UPで
持続可能な組織を目指す！

持続可能かつ強靱な組織に向けたチャレンジ

将来に渡り持続可能かつ強靱な組織の
構築に向けて包括的論議を推進

将来のNTJ労組のあるべき体制を、組織・財政の両面から論議するための専門部横断チームを発足します。

アンケート分析のフィードバックによる
職場改善機会の提供

組合員アンケートの結果と課題を、職場統括委員・職場委員を通じて広く共有し、会社とも認識合わせしながら、職場改善機会を提供します。

組合役員・委員の学び合いと
コミュニケーション機会の提供

労組独自研修による
「組合役員・委員の学び合い」を促進

労組独自で職場委員向けの研修会を企画・実施し、職場課題に対峙する力量の強化を図ります。また、委員間のコミュニケーションを通じて、次代を担う組合役員候補の人材育成に取り組みます。

職場原点活動・世話役活動の活性化

「対話会」等の職場交流を各拠点で推進、
新入組合員との接点強化

執行委員・職場委員と組合員との接点強化策として、「対話会」等の職場交流を全拠点で開催し、課題抽出と改善に取り組みます。新入組合員向け説明会については、職場担当執行委員の参画を通じて、組合を身近な存在に感じていただけるようにします。

イベント企画・運営プロセスの革新

アンケートによるニーズ調査と企画段階からの
職場委員参画

昨今の環境変化を踏まえ、アンケートを実施し、イベントに関するニーズを徹底調査し、企画に活かします。運営プロセスとしては、企画・準備段階から職場委員にも参画してもらい、一体感の醸成に取り組みます。



労働政策部

笑顔あふれる職場を創造する！

多様な人材が活躍し続けられ、
やりがい働きがいが高まる労働環境の整備

新制度の運用実態把握と継続検討内容の論議

組合員のやりがい働きがい、安心につながる人事制度や労働条件、福祉の整備を行います。またTSA終了に伴い、継続検討内容や移行後の制度の問題点を労使で論議を行っていきます。職場との往復論議により、よりよい労働環境づくりを行っていきます。

2023年 総合労働条件改善闘争

更なる発展に向けた労働条件の改善要求

グローバル半導体メーカーとして更なる発展に向け、労働条件、特に賃金・一時金について、社会情勢などを踏まえながら、組合員の不安払しょくと半導体産業の価値向上につながる要求を行い、労働条件の維持・向上に取り組めます。

ワークライフバランスの実現に向けた働き方改革

労働時間の実態把握とワークライフバランス推進

継続して長時間労働の抑制と年休取得推進に取り組めます。またリモートワーク制度の運用実態や、新たな勤怠管理システム導入による問題点がないかを労使で確認し、適正な労働時間管理のチェックを行います。

各種調査による実態確認

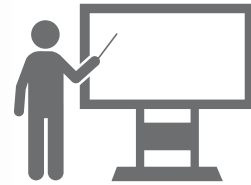
各種調査による職場労働環境の把握

賃金・一時金実態調査の継続実施により、適正な運用の実態確認、闘争時の要求確立と、制度の理解向上に向けた活動を展開します。コミプロアンケートを通じて、職場課題の改善、コミュニケーションの活性化が図れるように取り組めます。

安心・安全で快適に働ける職場環境づくり

労働災害撲滅で安心・安全・快適な職場環境を実現

各拠点の安全衛生委員会に参画し、災害情報や対策内容の情報共有、定期的な職場巡視を行い、安全で安心して働くことのできる職場環境の整備を行います。



ライフデザイン部

『豊かに生きる』未来を自ら創造しよう！

生涯設計支援を目的とした
福祉・共済制度の利用促進

セミナー、相談会の開催形式の多様化

笑顔にあふれた未来を自ら創造し、「豊かに生きる」の実践につながるライフデザインセミナーを開催します。セミナーは、TSA期間終了に伴う福祉制度変更に関わるテーマを中心として、特定の階層をターゲットにしたテーマを取り入れます。また、より多くの組合員が参加できるよう、録画の活用に加えて、ウェビナー、オンライン相談会など、引き続き開催形式の多様化に取り組めます。

また、無保障者ゼロに向けた取り組みとして、福祉・共済制度の新たな募集方法を検討します。

心身の健康を支援するライフデザイン講演会

新しい社会環境、経営環境下で、前向きに元気に仕事に取り組めるように、互いに学びあい、コミュニケーションの活性化につながるテーマで開催することを検討します。また、室内での集合型形式にこだわらず、社会状況に応じた開催形式(オンライン、ハイブリッド)を検討します。

推進リーダーの養成

上部団体、外部研修、他労組交流などを通じて知見を広め、推進リーダーを養成します。



暮らし改革部

豊かに生きる社会を目指して全員活動を！

“暮らしに響く”政策・制度改善活動の強化

政治への関心を高める“具体的な仕掛け”の取り組み
私たちの暮らしは、国の政策に密接に関連しているとの認識のもと、今後2年間で国会学習会や国会議員との交流などといった、政治への関心を高める活動に取り組めます。
組合加入時の「暮らし改革研究会」全員参加の取り組みは引き続き推進します。

各級選挙への取り組み推進

連合・電機連合・PGUとの連携のもと、人物・政策を重視した判断での支援
各級選挙の公認・推薦については、連合・電機連合・PGUといった上部団体と連携しつつ取り組んでいきます。その他推薦等は、人物・政策を重視し、都度是非々で判断のうえ、具体的な支援に取り組んでいきます。

長岡京市民懇話会活動のあり方を検討

市民懇話会活動のあり方の
将来的方向性の論議に着手
市民懇話会活動については、今後2年かけて活動のあり方を検討します。PGU Renovationを踏まえ、将来の組織内議員のあり方も含め、関係諸団体と連携しながら活動の方向性を論議します。

共助・共済に基づく社会貢献活動の推進

地域に軸足を置いた社会貢献活動で
更なる労組プレゼンスの向上
地域に軸足を置いた活動として、連合の地域協議会との連携をメインに各種ボランティア・社会貢献活動に参画します。各種支援カンパは、労組ホームページを介したオンライン支援を定着させます。



広報部

組合員と組合の架け橋に！

NTJ労組ホームページの有効活用

情報提供だけではなく、
相互コミュニケーションの場として活用を検討
組合員にとってより魅力的で分かりやすいホームページとなるように、コンテンツやレイアウトを工夫します。各種機関紙や取り組みの他、『豊かに生きる』につながる有益な情報を引き続きタイムリーに提供します。また、組合員との相互的なコミュニケーションの場となるよう、アンケートフォームを活用して、組合員からの意見や要望などを収集できるような取り組みを検討します。

機関紙による情宣

定刊号Azalea、NTJU News、Azalea号外を用いた効果的な各種情報・活動の見える化を推進
引き続き、Azalea定刊号は、組合活動や議員活動報告に加え、仕事や日常生活に役立つ情報やコラムを掲載し月初に発行します。NTJU NewsやAzalea号外は、各専門部の活動内容や各種行事、労使協議会の内容について随時発行します。また、重要な内容の機関紙は、より多くの組合員に情報が伝わるようにHP掲載と紙発行のハイブリッド情宣も検討します。

デジタルサイネージによる情宣

視覚的でタイムリーな情報を提供
長岡京地区においては、デジタルサイネージを最大限活用し、視覚的でタイムリーかつ各種有益な情報を適時提供します。

組合活動の見える化充実に向けた 情報発信力強化

電機連合・外部団体などのセミナーに参画し、組合活動の更なる見える化に向けた情報発信力を強化します。また、各専門部の広報スキル向上のための取り組みを検討します。

2022年度 一般会計予算および 2023年度 暫定予算の確立に関する件

前年度(2021年度)一般会計予算執行における経過

2021年度は、株式譲渡により設立された新会社へ対峙する新単組が発足した運営2年目であり、新型コロナウイルス感染拡大防止とウィズ・アフターコロナ社会における新たな活動スタイルを模索しつつ、従来の本部と支部の両機能を果たすべく活動を推進し、全体

の執行率としては87%となりました。支出が予算を大きく下回った科目については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種会議・研修・イベント・セミナーなどの中止や開催形態の変更および出張の自粛などによる影響が挙げられます。

2022年度一般会計予算および2023年度暫定予算について

1.概 要

NTJ労組の運動・活動を支える財政運営については、ウィズ・アフターコロナ社会における新たな活動スタイルへの移行やPGU Renovationに伴う新たな関係性構築を見据え、安定した財政基盤の確立とともに効率的かつ効果的な運営を目指します。また、原則である、単年度収入内での予算編成に向け検討を重ねましたが、組合費収入の減少や新単組運営3年目であることから、前年度繰越金も含めた予算編成とします。

また、大会開催時期と会計年度の期間の違いによって生じる4ヵ月間(2023年4月1日～7月31日)の財務執行については暫定予算として確立します。

2.組合費について

◎組合費

組合規約第113条に則り、2022年度の組合費については、前年度に引続き

各人の本給 $\times 1.2\% + 2,000$ 円
(基準内賃金) とします。

◎NSP組合費

組合規約第113条に則り、2022年度の組合費については、前年度に引続き、

各人の本給 $\times 0.72\% + 1,200$ 円
(基準内賃金) (一般組合員の60%水準) とします。

※なお、2022年度の「組合費」の上限金額は6,000円、「NSP組合費」の上限金額は、3,600円とします。(一般組合員の60%水準)

※また、組合費については、2023年度の賃金改定に伴い、差額が発生した場合、2023年5月切給与にて遡及処理精算を行います。

3.収 入

組合員数は前年度実績と比較して、定年退職等の事由により減少することが想定されることから、今年度の平均組合員数を900人と見込み、組合費収入、前年度繰越金、預金利息収入なども含めた2022年度の総収入は、約1億2,370万円となる見込みです。

4.支 出

- (1)新単組運営3年目にあたることから昨年度の活動の実績を考慮しつつ、新型コロナウイルス感染状況も改善されウィズ・アフターコロナ社会における新たな活動スタイルへの移行が進むことが考えられることから、対面での活動・組織運営が増加すると想定し、予算を計上しています。
- (2)旅費交通費、会議費については、Web会議システムや他ITの活用を図りながらも、運動方針に沿った活動が実現できる予算編成とします。
- (3)活動行事費については、活動毎にその特性や用途に応じてリアル対面とWebリモートを組み合わせ、コミュニケーションのなかでの自律と支え合いのハイブリッド運営ができるよう活動費用を計上します。
- (4)限られた財源の中、予算内での執行をめざし、効率的な財政運用を心掛けるとともに、支出削減に向けた継続的な改善に取り組んでいきます。

特別会計

組合規約第114条に則り、特定の事業遂行ならびに一般会計の安定化のために以下の特別会計を引き続き設置・運営します。

- ◎組合活動基金 (一般会計の安定化など)
- ◎組合互助基金 (結婚・出産祝金、供花代など)
- ◎犠牲者救済基金(組合活動中の物品破損補償など)

次年度以降の予算編成に向けて

今日的な運動・活動のあり方も含め、NTJ労組の安定した財政基盤の確立と効率的な財務運用に向け、今期活動を行っていく中で単組での活動を見極め、

2023年度以降の予算編成について論議・検討を行っていきます。

2022年度一般会計収支予算				自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日 [単位：円]		2023年度暫定予算		自 2023年4月 1日 至 2023年7月31日 [単位：円]	
収入の部						収入の部			
項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要		2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要		
前 期 繰 越 金	67,370,507	67,370,507	62,504,738			44,648,738			
組 合 費	64,800,000	62,976,010	60,480,000	組合員数延べ 10,800人(月平均 900人)		20,160,000	組合員数延べ 3,600人(月平均 900人)		
受取利息・配当金	750,000	621,561	550,000	労金出資配当、預金利息など		550,000	労金出資配当、預金利息など		
雑 収 入	160,000	148,500	140,000	他労組からの世話役活動費など		45,000	他労組からの世話役活動費など		
収入・総合計	133,080,507	131,116,578	123,674,738			65,403,738			

支出の部				[単位：円]	支出の部		[単位：円]
項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要	2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要	
会 議 費	3,650,000	1,874,853	3,850,000		1,215,000		
大 会	1,200,000	986,722	1,300,000	議案書印刷費、大会旅費交通費など	400,000	議案書印刷費、大会旅費交通費など	
職場統括委員会	1,000,000	—	1,000,000	職場統括委員会旅費交通費など	300,000	職場統括委員会旅費交通費など	
執行委員会	1,400,000	888,131	1,500,000	執行委員会・三役会議旅費交通費など	500,000	執行委員会・三役会議旅費交通費など	
その他会議	50,000	—	50,000	上記以外の会議開催旅費交通費など	15,000	上記以外の会議開催旅費交通費など	
旅 費 交 通 費	1,000,000	144,663	1,000,000	弔事対応旅費、一般出張旅費、海外巡回費など	300,000	弔事対応旅費、一般出張旅費、海外巡回費など	
活 動 行 事 費	10,450,000	6,375,639	10,800,000		3,350,000		
経 営 政 策 部	1,000,000	861,946	1,100,000	研修会・セミナー参加費、経営政策交流費、専門部会議費など	350,000	研修会・セミナー参加費、経営政策交流費、専門部会議費など	
労 働 政 策 部	1,000,000	669,345	900,000	闘争関連費、セミナー開催費、ポケットカレンダー制作費など	300,000	闘争関連費用、セミナー開催費用、ポケットカレンダー制作費など	
組 織 政 策 部	5,000,000	2,477,836	5,000,000	役員・委員研修会費、イベント費、対話会・面談費、専門部会議費など	1,500,000	役員・委員研修会費用、イベント費用、対話会・面談費、専門部会議費など	
ライフデザイン部	900,000	230,221	900,000	セミナー開催費、オンラインセミナー年間契約費、専門部会議費など	300,000	セミナー開催費、オンラインセミナー年間契約費、専門部会議費など	
暮らし改革部	750,000	562,960	1,000,000	地域貢献活動費、市民相談会費、専門部会議費など	300,000	地域貢献活動費、市民相談会費、専門部会議費など	
広 報 部	1,500,000	1,425,695	1,600,000	機関紙制作費、ホームページ運営費、専門部会議費、広報備品購入費など	500,000	機関紙制作費、ホームページ運営費、専門部会議費、広報備品購入費など	
総 務 部	300,000	147,636	300,000	定年退職者昼食会費、外部監査費、書記スタッフ研修費など	100,000	定年退職者昼食会費、外部監査費、書記スタッフ研修費など	
上部・関連組織費	2,000,000	2,149,815	2,200,000	連合・電機連合・PGU活動参加費、旅費交通費など	500,000	連合・電機連合・PGU活動参加費、旅費交通費など	
事 務 費	5,400,000	4,352,290	5,200,000		1,640,000		
事 務 機 器 費	3,000,000	1,893,518	2,500,000	コピー機・パソコンリース料、サーバー利用料など	800,000	コピー機・パソコンリース料、サーバー利用料など	
事務消耗品費	500,000	392,841	500,000	事務用品購入費、コピー用紙代、印刷費、封筒代など	150,000	事務用品購入費、コピー用紙代、印刷費、封筒代など	
通 信 費	350,000	311,820	350,000	HDコム・WARP利用料、通話料、郵送・宅配料など	110,000	HDコム・WARP利用料、通話料、郵送・宅配料など	
設 備 ・ 什 器 費	650,000	773,779	800,000	事務所・各種設備修繕費など	250,000	事務所・各種設備修繕費など	
新聞図書費	350,000	479,870	500,000	新聞代、雑誌・書籍購入費など	150,000	新聞代、雑誌・書籍購入費など	
寄 付 費	400,000	373,100	400,000	各種団体への寄付・慶弔関連費など	130,000	各種団体への寄付・慶弔関連費など	
雑 費 そ の 他	150,000	127,362	150,000	振込手数料、事務所湯茶代、その他雑費など	50,000	振込手数料、事務所湯茶代、その他雑費など	
諸 会 費	8,340,000	8,259,088	8,260,000		2,450,000		
パナソニックグループ労連会費	6,800,000	6,762,000	6,700,000	パナソニックグループ労連会費	2,200,000	パナソニックグループ労連会費	
オールパナソニックセーフティネット	90,000	89,568	100,000	オールパナソニックセーフティネット保険料	—		
パナソニックグループ天災救援基金	700,000	671,000	700,000	パナソニックグループ天災救援基金への寄付金	—		
業 務 委 託 費	700,000	683,520	700,000	パナソニックグループ労連への業務委託費	230,000	パナソニックグループ労連への業務委託費	
そ の 他 会 費	50,000	53,000	60,000	松愛会助成金、各種団体会費、賛助会費など	20,000	松愛会助成金、各種団体会費、賛助会費など	
業 務 費	22,000,000	20,293,892	21,100,000	専従役員・書記スタッフ給与、一時金、法定福利費など	7,000,000	専従役員・書記スタッフ給与、一時金、法定福利費など	
不 就 業 費	200,000	—	200,000	不就業活動補償手当	70,000	不就業活動補償手当	
交 流 渉 外 費	650,000	13,600	600,000	外部諸団体との交流渉外費など	200,000	外部諸団体との交流渉外費など	
調 査 ・ 研 究 費	4,950,000	4,591,000	4,700,000	賃金・一時金・ミプロ・意識実態調査費、役員・委員研究費など	1,500,000	賃金・一時金・ミプロ・意識実態調査費、役員・委員研究費など	
特別会計への繰入	20,560,000	20,557,000	21,116,000		350,000		
組合互助基金会計への繰入	560,000	557,000	1,116,000	組合互助基金会計へ繰入(月末人員×100円)	350,000	組合互助基金会計へ繰入(月末人員×100円)	
組合活動基金会計への繰入	20,000,000	20,000,000	20,000,000	組合活動基金会計へ繰入	—		
支出・合計	79,200,000	68,611,840	79,026,000		18,575,000		
次期繰越金	53,880,507	62,504,738	44,648,738		46,828,738		
支出・総合計	133,080,507	131,116,578	123,674,738		65,403,738		

〔特別会計〕2022年度「組合活動基金会計」収支予算

収入の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
前 期 繰 越 金	105,095,357	105,095,357	125,096,505	
一般会計からの繰入	20,000,000	20,000,000	20,000,000	一般会計からの繰入
雑 収 入	1,000	1,148	1,000	預金利息
収入・合計	125,096,357	125,096,505	145,097,505	

支出の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
犠牲者救済基金会計への繰入	1,000	—	1,000	預金利息を犠牲者救済基金会計へ繰入
次期繰越金	125,095,357	125,096,505	145,096,505	
支出・合計	125,096,357	125,096,505	145,097,505	

2023年度暫定予算

収入の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
145,096,505	
—	
—	
145,096,505	

支出の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
—	
145,096,505	
145,096,505	

〔特別会計〕2022年度「組合互助基金会計」収支予算

収入の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
前 期 繰 越 金	3,383,153	3,383,153	2,792,172	
一般会計からの繰入	560,000	557,000	1,116,000	毎月末人員×100円
雑 収 入	30	31	30	預金利息
収入・合計	3,943,183	3,940,184	3,908,202	

支出の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
慶 弔 見 舞 金	900,000	1,148,012	1,200,000	結婚・出産祝金給付、供花代など
次期繰越金	3,043,183	2,792,172	2,708,202	
支出・合計	3,943,183	3,940,184	3,908,202	

2023年度暫定予算

収入の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
2,708,202	
350,000	毎月末人員×100円
—	
3,058,202	

支出の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
400,000	結婚・出産祝金給付、供花代など
2,658,202	
3,058,202	

〔特別会計〕2022年度「犠牲者救済基金会計」収支予算

収入の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
前 期 繰 越 金	1,764,010	1,764,010	1,764,026	
組合活動基金会計からの繰入	1,000	—	1,000	組合活動基金会計より繰入
雑 収 入	16	16	16	預金利息
収入・合計	1,765,026	1,764,026	1,765,042	

支出の部

[単位：円]

項 目	2021年度予算 (21/4～22/3)	2021年度決算 (21/4～22/3)	2022年度予算 (22/4～23/3)	摘 要
次期繰越金	1,765,026	1,764,026	1,765,042	
支出・合計	1,765,026	1,764,026	1,765,042	

2023年度暫定予算

収入の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
1,765,042	
—	
—	
1,765,042	

支出の部

[単位：円]

2023年度 暫定予算 (23/4～23/7)	摘 要
1,765,042	
1,765,042	

こくみん共済 coop制度の取り組みについて

1. NTJ労組は相互扶助の精神に基づく自発的な福利厚生活動として、「人と人との協同」を原点に、こくみん共済coop活動を労働運動の柱の1つとして取り組みを行います。
2. 共済活動に関わる情報提供、利用促進、事務手続きは、組合員からの委任に基づいて組合事務局が代行します。
3. 共済契約に関する事務手続きを円滑に進めるため、こくみん共済coopより必要最小限の範囲において個人情報提供を受けて取り組みを行います。

3

号議案

組織内議員の公認に関する件

大きく変化する時代環境の中、地域に根ざした市民活動を展開していくことが豊かな地域社会を創ることにつながると考えます。NTJ労組では身近な地域課題の解決を通じて私たち市民全体の生活向上と地域共生をはかっていくために、右の1名を組織内議員として擁立し、積極的に活動を支援していくものとします。



長岡京市議会議員
進藤 裕之

4

号議案

特別執行委員の選出・派遣に関する件

NTJ労組として労働運動の発展と充実をはかるために、連合・電機連合をはじめとする上部・関係団体からの要請と組合規約第65条に基づき、右の1名を特別執行委員として選出し派遣することとします。



電機連合京都地協
事務局長
呉川 昌弘

5

号議案

会計監査法人の委嘱に関する件

NTJ労組の会計監査法人を以下の通り委嘱するものとします。

〔会計監査法人〕 **誠光監査法人** 大阪市中央区備後町1丁目4番5号 堺筋東野村ビル

6

号議案

その他



ヌヴォトン テクノロジージャパン労働組合

第7回年次大会

大会次第

- ◆ 開会の辞
- ◆ 資格審査委員の確認
- ◆ 資格審査発表・大会成立宣言
- ◆ 議長団選出
 - 大会議事運営委員選出
 - 大会書記任命
- ◆ 執行委員長挨拶
- ◆ 来賓祝辞・祝電披露
- ◆ 議事日程提案
- ◆ 議 事
 - 報告確認事項 (1) 2021年度 活動経過報告
 - (2) 2021年度 収支決算に関する件
 - 審議事項
 - 1号議案：2022・2023年度 運動方針に関する件
 - 2号議案：2022年度一般会計予算および2023年度暫定予算の確立に関する件
 - 3号議案：組織内議員の公認に関する件
 - 4号議案：特別執行委員の選出・派遣に関する件
 - 5号議案：会計監査法人の委嘱に関する件
 - 6号議案：その他
 - 代議員提出議案
- ◆ 役員選出
- ◆ 功労表彰
- ◆ 退任役員挨拶
- ◆ 執行委員長挨拶
- ◆ 議長団・大会書記・各種委員の解任
- ◆ 閉会の辞

【 大会書記長：檜岡 浩喜 】

この議案書はホームページ <https://www.ntju.jp/> にも掲載しています。

氏 名